

| | |
|-----------|---|
| Title | 後進蔵箴言 |
| Author(s) | 湖, 柳生 |
| Journal | 歯科醫學叢談, 2(4): 62-64 |
| URL | http://hdl.handle.net/10130/432 |
| Right | |

慣ヨリ衛生ノ事項ヲ等閑ニ付スレバ小害ハ大害ノ胚素ニシテ竟ニ一國富強ノ基礎ニ一大關係ヲ生ス是レヲ以テ人ノ母タル者貴賤貧富ヲ論セス家庭養育ノ方法ハ最モ兒子ノ健厄ニ大ナル影響ヲ爲スヲ了解シ苟モ衛生上有害ナルモノハ其弊風ヲ改革シ以テ斯ノ保嬰ノ道ヲ忽諸ニ付セス必ク此ニ注キテ世人相共ニ永ク開化ノ聖世ニ於テ觀樂ヲ享有セラレンコトヲ企望スル所ナリ

雜錄

後進箴言

湖柳生

齡未だ熟せず學未だ達せざるの徒齒科の道に遊ばんと志さず須らく先づ左の條文を念頭に置かんこと最も肝要なり、記して暫く後進の箴言となすと云爾

第一項 大凡人趣向あり巧拙あり望む所期する所相等しからずと雖も決して欺偽騙誑を構ふる勿れ己れを責め業に忠に萬事完全無缺を標的となし敢て意に滿たずとて撓む可らず夫れ業は荒むに敗れ精しきに成る期する所高ければ何時しかそこに到るべし孔子曰進者吾行也と又曰く一簣積成山と西諺に曰く *Petit à petit L'oiseau fait son nid* (鳥は巢を設くるに倦むとなし) と東西の聖言共に然り初學の徒服膺すべきとなり

第二項 同儕の間に立て術を售るに當りては宜しく自ら其分限を省み森嚴なる見識を以て世に處るべし今の世を見るに若年の輩氣節地に墜ち自ら人後に晏如たるあり或は黃吻青面の曹飄々埃の如く塵の如く猥りに先輩を侮り臭氣嫌ふべきものあり何ぞ夫れ庸を得ざるの甚しきや後進の徒此に觀る所あらざる可らず

第三項 開業の地を下するや地料廉なるを撰む

可らず又彼の齒科醫の隣比を避くる事勿れ常に多くの人と伍して相親しみ急緩相援くるの厚誼を結ばんことを勉むべし又己れの競手を求むべく其勝敗は自ら定むること勿れ衆目の指す所に従ふべし且夫れ患者の挿索を要せず而かも人の見ざる可らざる要路に居を占むべし

第四項 權謀を慎むべし然れ共自ら將來の有望を信するの抱負を示すも何ぞ妨くる所なし却て吾後援者の心を強ふするものなり男子の胸中堂々別天地を象とる亦快ならずや

第五項 一たび手を下せば貫徹せずして止むる勿れ快活周到進取溝腔の熱血に濺くに吝かなるべからず徒らに修飾、虚貌、かりそめにも冷淡の動作あるべからず暇あらは同輩の治療所を看て己の缺點を補ひ淑婦令嬢も一回彼醫の治療所を見せはしと云はしむるに足るや否を顧みるべし

第六項 治療に關する機械を充分に備ふべし清

裝の椅子經濟的の附屬品精良の器械齒牙充填物等不足なからまほし尤も器械あるを知て身を忘却する勿れ斯くて初て一門の齒科醫とこそ云ふべけれ

第七項 然れど社會は活物なり世路は平坦ならず幾多の反對黨は現出すべく無量の駭害は諸子を惑はすべし迷ふ勿れ正義の士彼等は新聞に雜誌に子等の冤を企つべし或は書狀の脅迫も鮮なからざるべし然れども有血の箇人たるもの遂に屈するを屑しとせんや宜しく之に齒せざるべし唯一意自己の品性、姿勢、社交、公益の點に身を修め氣を養ひ高く彼等の頭上に雄飛せば復何をか恨まん諸子の熟達は無上の雄辯なり諸子の沈重は敵黨を壓殺するの要石なり、温和、敦厚は社會の要素なり身の達する所影の落つる地歡迎の聲は湧くに至らん然れ共諂諛を口にし割引券を配佈するか如き手段は男子の耻つる所なり

慎ますはゐるべからず

第八項 其他何事を爲すにまれ自分の本領を主となし他は悉く従と心得ふべしされは何時の間も心腹と門前とは『知有是不知有他』を銘すべし

第九項 賤民、愚凡、貴族公子の區別を眼中に置くこと勿れ殊に小兒婦女の如きに對しては最も優雅に應接し粗暴は堅く禁ず患者を得るの天才は半は其處置如何にありて存ず味ふべし

全國齒科醫名籍 (承前)

本誌第四號ニ於テ全國齒科醫ノ名籍ヲ掲タリシガ爾來一年有餘齒科醫ノ増加シタルモノ少カラズ依テ茲ニ其以後ニ係ル名籍ヲ續記スルコトハナシヌ(六月十八日調査)

- 三百十號 伊藤 市郎 三一四 前原 彦松
- 三一 苗加 房三郎 三一五 大野 直雄
- 三二 關 新太郎 三一六 平岩 鉛郎

- 三二三 松浦彦右衛門 三一七 大久保新三郎
- 三二八 宮原 武次郎 三三四 齋木 謙造
- 三一九 長谷川光太郎 三三五 加藤 福松
- 三二〇 下國 翼 三三六 吉田 佳雄
- 三二一 内野 新吉 三三七 鹽島 元三郎
- 三二二 藤代 與藏 三三八 望月 久嶽
- 三二三 渡邊 左策 三三九 佐々木要伍
- 三二四 前田 嘉吉 三四〇 青木 瀧四郎
- 三二五 間野 式乘 三四一 大西 造吉
- 三二六 神原 定 三四二 小田 通敏
- 三二七 杉原 清太郎 三四三 市川 吉六
- 三二八 田中 德三郎 三四四 福島 元一郎
- 三二九 長谷川萬壽吉 三四五 空地 忠藏
- 三三〇 芥川 惠迪 三四六 在竹 三郎
- 三三一 大石 庫太郎 三四七 宮澤 林太郎
- 三三二 杉原 順造 三四八 石河 猛彦
- 三三三 鈴木 慶三 三四九 遠藤 爲吉